2. 事業の概要

1 滋賀文教短期大学

(1) 教育理念と建学の精神

【教育理念】

「教育は人にあり、国家の未来は教育にかかっている。教育の向上には、まず、教員の養成が重要である。」

【建学の精神】

「知育・徳育・体育」の鼎立と調和の取れた人間形成

1. 教育活動

教育理念と建学の精神は、私立学校の根幹であり、全ての教育研究活動に通じていなければならない。

国文学科、子ども学科で開設されている教養科目「基礎力プログラム」にて、建学の精神の周知及びそれに基づく自校教育や学修成果の涵養に努めた。

また、子ども学科の実習指導においても、建学の精神に基づき、知識技能のみならず、「徳育」の面からの教育に努めた。それらの教育を全教員が共通して実施できるよう、実習内規も抜本的に改正した。

2. 学内外への表明

年度当初の教員連絡会にて、学長講話の時間を設け、専任教職員及び非常勤教員に、学園の沿革、教育理念及び建学の精神、教育目標、学訓について研修を行った。

またFD研修会「教育研究活動の方針」を実施し、より具体的に研修を行った。

学生には、入学前のプレキャンパスセミナーを計画する（新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）と共に、入学後も入学式での学長式辞やオリエンテーション等にて説明を行った。

3. 各学科の特徴的取組

【国文学科】

○司書資格取得可能

滋賀県内では唯一、司書の資格を取得できる。図書館の機能や役割等を学ぶとともに、知識を深め、資料の整理やレファレンスサービスなど専門的知識を得ることができる。また、長浜市との連携協定により、図書館の多彩な業務に対する理解を深める図書館インターンシップを実施している。

【子ども学科】

○ぶんぶんひろば

地域の子育てを学生と一緒に支援する取組「ぶんぶんひろば」を開催し、現場対応力や実践力などを育成している。幼児とのふれあいを通して、保育の実践力を向上させる機会になることはもちろん、地域の子育て支援にも貢献している。

○保育士資格・幼稚園教諭二種、小学校教諭二種免許状取得

保育士資格・幼稚園教諭二種、小学校教諭二種免許状を2年間で取得することができる。現役生はもちろん、将来の進路選択、進路変更の一つとして、社会人入学生も多い。入学定員が少ない分、専任教員一人当たりの学生数が約7人と少人数の利点を生かした教育体制を取っている。

4. 卒業者数・学位授与の状況

卒業者数 国文学科16名 子ども学科34名 計50名

学位授与の方針に基づき、国文学科卒業生に短期大学士（文学）、子ども学科卒業生に短期大学士（教育学）の学位記を交付した。

5. 免許・資格取得情報

令和2年度の教員免許・資格取得状況は次のとおりであった。

(単位：人)

	国文学科	子ども学科	合計
小学校教諭二種免許状	0	3	3
幼稚園教諭二種免許状	0	31	31
学校図書館司書教諭	0	3	3
図書館司書	12	0	12
保育士資格	0	28	28

(注) 学校図書館司書教諭は、申請者数を示す。

6. FD（ファカルティ・ディベロップメント）活動

FD委員会が中心となり、教員の教育力の向上、教育内容等の改善等に取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い動画視聴での研修の形態を積極的に取り入れ例年以上に積極的な研修実施を図った。

- ①学生アンケートの実施
- ②学内研修会の実施
- ③コンプライアンスに係る研修の実施
- ④公開FD研修会の実施
- ⑤授業改善（遠隔授業含）に係る学生との懇談会の実施（授業改善FD）

7. SD（スタッフ・ディベロップメント）活動

職員の資質向上を図るため、大学として組織的にSDを実施した。新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、各業務や授業にICTを多く取り入れる事となったため、対象を教職員としていたSDは遠隔授業・Chromebook 操作方法の研修を実施したほか、令和2年度びわ湖東北部地域連携協議会事業で実施されている公開SD研修会がビデオ会議形式で実施されたことにより研修を受講するための場所移動等の制約が無くなったことから、ビデオ会議形式研修への参加を積極的に大学として促した。

8. 入学前教育の実施

入学予定者に対して、「入学前サポートプログラム」と称し、高校から大学への橋渡しや、基礎学力や学習意欲の向上をねらいとして取り組んでいる。

入学予定者に向けたオリエンテーションである「プレキャンパスセミナー」の実施

を計画し、学習支援、友人作り、不安の解消、学習意欲の向上に向けた取組を展開した。（新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）

セミナーでは、保護者向けの説明会を実施し、入学前に知るべき情報などを提供する計画を立てた。

(2) 学生の状況

1. 学生自治会・課外活動

学生自治会のもとに大学祭実行委員会や各サークルが組織され、学生の活動の中心となっている。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により令和2年度の登録、活動実績は無い。令和元年度のサークル数は次のとおりであった。

◇サークル数

6団体 (91名) ※延べ人数	にじいろサーカス団、バドミントンサークル、陸上サークル、バレーボールサークル、軽音楽サークル、文芸サークル
-----------------------	---

2. 学生への経済的支援

経済的に学納金等の納入が困難な学生に対し、様々な支援で就学の機会を確保している。

①滋賀文教短期大学奨学金制度

本学の発展に寄与する学生に奨学金を給付した。

奨学生認定数 I種 2名 ・ II種 9名

②延納及び分納

学納金の納入が困難な学生に対し、延納及び分納支援を行った。

③高等教育就学支援制度

支給要件にかかる大学要件について合致するとされ認定されている。

支給者概要

全額免除 10名（1年 6名、2年 4名）

2/3 免除 8名（1年 5名、2年 3名）

1/3 免除 6名（1年 3名、2年 3名）

④学生支援緊急給付金

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、アルバイト収入の激減等により困窮している学生の「学びの継続」のための給付手続きの対応を行った。

(3) 進路指導の状況

1. 就職・進路支援

2年生に対しては、遠隔対応を多用し就職支援講座を引き続き実施してきた。子ども学科の学生に対しては学内保育就職フェアを実施した。

1年生に対しては、入学直後から就職支援講座を行い、新卒の際の進路・就職先だけではなく、将来にわたったキャリア形成について考えた上で進路選択ができるように指導した。国文学科の学生に対しては業界研究合同企業説明会を実施した。

その他、個別面談を通して、個々のニーズに合わせた就職及び進学への支援、業界及

び職種選択の支援をきめ細かく行った。

2. 就職・進路結果

令和2年度の就職及び進路結果は下表のとおりである。

○学科別の就職・進路状況（令和3年5月1日現在）

	卒業者数	一般企業	施設 園・公立保育所・公立児童養護 施設	公務員・団体職員・公立小学校 ・公立認定こども園・公立幼稚 園・公立保育所・公立児童養護施 設	私立 私立学校事務・私立小学校・私 立認定こども園・私立幼稚園・私 立保育所・私立児童養護施 設	福祉・医療	進学	契約職員（公私立の小学校・認 定こども園・幼稚園・保育所・ 官公庁・福祉・医療）	自営・その他
国文学科	16	12	0	0	1	2	0	1	
子ども学科	34	1	1	15	3	1	9	4	

(4) 社会活動（大学開放）の状況

1. 湖国カルチャーセンター

新型コロナウイルス感染症感染拡大のため全事業中止

後援：長浜市・しが生涯学習アカデミー参画事業

2. ぶんぶんひろば開催状況・内容

開催の計画立案はしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため全事業中止

回	日時 (計画段階)	内 容 (テーマ)	参加学生		参加者	
			2年生	1年生	子ども	大人
1	4月22日	ふれあい遊び	/	/	/	/
2	5月20日	身体を動かして遊ぼう	/	/	/	/
3	7月15日	さわって遊ぼう	/	/	/	/
4	8月26日	水遊びをしよう	/	/	/	/
5	10月7日	ミニ運動会	/	/	/	/
6	10月24日	様々なコーナーで遊ぼう	/	/	/	/
7	11月25日	お楽しみ楽器遊び	/	/	/	/

(5) ボランティア活動

平成27年度、本学と長浜市、長浜警察署と交通安全推進活動に関する三者協定を締結。

令和2年度はこの協定に基づく交通安全ボランティアのほか、地域で開催される事業（通学合宿・ツーデーマーチ等）が新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止となり、ボランティアの参加実績は無い。

(6) 地域社会との交流

1. 長浜市と滋賀文教短期大学との協力に関する包括連携協定による交流活動

長浜市・短大の協力関係を拡充し、地域社会の発展に寄与するため、教育・保育に関する事業、文化の振興に関する事業など多角的に協力し実施するため協定を平成27年度に締結し、保育就職フェア等を開催するとともに、大学の教育への助言を受けた。

2. 長浜市と長浜警察署及び滋賀文教短期大学との交通安全推進活動に関する連携協定による活動

交通事故防止のために一体となって活動し、交通安全意識、交通マナーの高揚を図り地域社会の安全に寄与することを目的に締結し、交通安全ボランティアを組織し活動を計画した。

(7) 国際交流活動

1. 留学生の受け入れ

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により留学生の受け入れは無かった。令和元年度入学の留学生1名の在籍となった。

また、本学子ども学科学生を対象の、タイ王国の幼稚園（サハビットバイリングル幼稚園、マタデースクール）での海外インターンシッププログラムはコロナ感染症対策のため中止とした。

(8) 学生募集活動

令和2年度の学生募集活動は、前年度の課題である、募集エリアにおける認知度の向上に向けて、①オープンキャンパス②ガイダンス③高校訪問を中心に取り組んだ。コロナ禍により募集に制限がかかる部分もあったが、WEBオープンキャンパスやWEB入試を導入し募集活動を実施した。

【入試結果】（令和3年度入学生）：（ ）は男性数（単位：人）

	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
国文学科	50	20 (11)	19 (10)	19 (10)	18 (9)
子ども学科	50	55 (8)	55 (8)	53 (8)	52 (8)
計	100	75 (19)	74 (18)	72 (18)	70 (17)

(注) 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数には委託訓練生も含む。

(9) 教員研究の状況

1. 教員研究

研究計画に基づき専任教員が申請することにより、学長の承認を得て、自らの専門分野における学術研究・教材研究に要した経費として、教授には7万円、准教授には6万円、講師には5万円、助教には4万円まで支給した。また、論文執筆に係る加算研究費は17人、18本で計33万円であった。（紀要論文の執筆も含む）

外部資金を活用しての研究業績は、日本学術振興会の科学研究費助成事業の若手

研究で1件採択された。また、共同研究者として関わるなど外部資金獲得に留まらず、社会的な信用や存在感を高めることとなった。

2. 紀要の発刊

各学科で論文の執筆、共同研究を行い、年度紀要を発刊した。

◇令和2年度紀要（学長就任記念号） 執筆者13名 論文15編
 本学機関リポジトリ「滋賀文教短期大学リポジトリ」にて公開している。

(10) 図書館の状況

1. 図書館利用状況

貸出人数	貸出冊数	受入冊数	奉仕対象者
888人	1742冊	1203冊 (注)受入冊数の内訳 保管 4冊 購入 948冊 寄贈 250冊 弁償 1冊	194人 (注)奉仕対象者は、在学生(130人)、教職員(62人)、学外者(0人)、その他(2人)を指す。

2. 広報・展示、その他

- ・読書推進スタンプラリー開始
- ・「図書館だより」年3回発行
- ・「テーマ別月刊通信」8回発行
- ・テーマ別資料展示7回
- ・司書のおすすめ本8回
- ・広報誌の学内サイト公開
- ・図書館公式アカウントによるTwitter
- ・POP・本の帯コンクール（PF事業）

(11) 施設・設備の状況

- ・401教室を改修し、アクティブラーニング室として整備
 - ・Wi-Fi校内設置工事（継続）
 - ・WEBカメラ購入
 - ・全学生へのChromebook配布（遠隔授業対応）
 - ・WEBシステムG Suite導入、Microsoft office365導入
 - ・検温用サーマルカメラの購入
 - ・要所へのアクリル板等感染予防備品購入
 - ・新校舎建築計画準備
- その他、学内環境整備のための環境整備を行った。

(12) 改革総合支援事業について

平成27年度にタイプ2の採択を受け、毎年度学内改革に取り組み令和2年度にお

いては、タイプ3「びわ湖東北部地域における学術文化教育基盤を目的とした大学・短期大学・地域連携プラットフォーム事業」の採択を受けた。今後も学内改革のため、教職員一体となって取り組んでいくこととしている。

また、特にタイプ3で採択を受けたびわ湖東北部地域連携協議会の活動に置いてリーダー校の一翼を担い、社会貢献を果たした。

2 岐阜第一高等学校

(1) 教育活動

1. 学科、コースの特徴

設置学科は普通科, 工業科で、普通科は3コース, 工業科は2コースに分けている。
今年度は男女共学化の5年目となる。

【普通科】

◎カレッジコース（2・3年）

創設28年目を迎えたカレッジコースは、国公立大学への進学を目指し、1クラス20名前後の少人数クラス編成をとり、一人ひとりの進路希望に合わせた受験とそれに対応するための学習指導を行っている。今年度から、コース改編により新入生を受け入れていない。具体的な授業外学習として、朝学習、放課後補習、Classi (Benesse) による学習動画やWEBテスト、夏季・冬季の講習、教科ごとの個別指導がある。開かれた職員室と多くの自習場所を備え、整った学習環境で指導が行えている。また、生徒自らが選択する進路指導を目標として、進学説明会、進路ガイダンス、三者懇談、卒業生と語る会などの行事を通じて、保護者と共に考える進路支援を徹底している。大学入試に対応できる高度な学力と礼節を重んじる豊かな人間性を育み、社会に貢献できる人材育成に努めている。

◎プログレスコース（2・3年）

創設5年目となり、コース改編により新入生はいないものの、四年制大学・短期大学・専修学校への進学を目指し、徹底した基礎教育で学ぶ習慣を身に付けさせている。週2日間の7時間授業に加え、Classi (Benesse) による学習動画やWEBテスト、放課後の自主学習を実施しており、2年次からは、文系・理系に分かれ、さらに習熟度別クラス編成のレベル別指導で、理解できるまで指導する体制を整えている。基本的な生活習慣を身につけ、社会問題に幅広い関心を持ち、向上心を持った生徒の人材育成に努めている。

◎特別選抜コース（1年）

創設1年目であり、今年度は女子1名の新入生を迎えた。国公立大学や難関私立大学への進学を目標としており、前身のカレッジコースよりも充実した、きめ細やかな指導体制を敷いている。その一例として、躓きやすい生徒が多い数学、英語の二教科に関して個別授業を実施している。また、先述の通り本コースの生徒が1人である現状を鑑み、後述の特別進学コースの生徒と合わせたクラスを編成している。具体的な授業外学習として、朝学習、放課後補習、Classi (Benesse) による学習動画やWEBテスト、夏季・冬季の講習、教科ごとの個別指導、週末課題を実施している。開かれた職員室と多くの自習場所を備え、整った学習環境で指導を行うことができる。また、生徒自らが選択する進路指導を目標として、進学説明会、進路ガイダンス、三者懇談、卒業生と語る会などの行事を通じて、保護者と共に考える進路支援を徹底している。新大学入試に対応できる高度な学力と礼節を重んじる豊かな人間性を育み、社会に貢献できる人材育成に努めている。

◎特別進学コース（1年）

創設1年目であり、今年度は9名（男子2名、女子7名）の新入生を迎えた。国立大学を主軸とした四年制大学への進学を目標としており、特別選抜コースと同様の取り組みを行っている。また、生徒自らが選択する進路指導を目標として、進学説明会、進路ガイダンス、三者懇談、卒業生と語る会などの行事を通じて、保護者と共に考える進路支援を徹底している。新大学入試に対応できる高度な学力と礼節を重んじる豊かな人間性を育み、社会に貢献できる人材育成に努めている。

◎総合進学コース（1年）

創設1年目であり、今年度は36名（男子19名、女子17名）の新入生を迎えた。四年制大学から専修大学まで幅広い進学先に対応できるよう、徹底した基礎学力指導を行っている。クラス内での学力差が大きく、四年制大学への進学希望を持っている生徒に必要な難易度の授業展開が出来ない課題が存在する。特に進学意欲が強い生徒には毎日の6時間授業に加え、週3日間の放課後補習を国語・数学・英語の3教科で実施している。

◎スポーツコース

硬式野球（男子）・サッカー（男子）・自転車（男女）・スキー（男女）・バレー（女子）・女子硬式野球（女子）が、最高の環境と充実したプログラムにより全国レベルのトップアスリートの育成をしている。今年度は77名（男子54名、女子23名）の新入生を迎えた。独自の強化プログラムでは、部活動に取り組む時間を十分に確保し、週5日間のうち3日間は5、6限目をスポーツコースの専門体育の時間として部活動を実施している。

【工業科】

◎自動車工学コース

自動車の原理や構造、法令から整備に至るまで、確かな知識と技術を磨き、業界から必要とされる優秀なカーエンジニアを育成している。今年度は33名（男子33名）の新入生を迎えた。実践に近い環境（ピークルシミュレーションテスターによる自動車性能試験や4輪ホイールアライメントテスター等）で現場に即した専門スキルを体験することができ、社会で活用できる最先端の授業を展開している。

◎生産システムコース（前 電子機械コース）

昨年度まで電子機械コースとしていたコースを、ものづくりを体系的に捉えることができるよう、「生産システムコース」と名称変更し、同時に教育課程の見直しも行った。多種多様な製造業へ就職ができ、設計・生産・管理、それぞれの職種に対応できるよう電気・電子・機械・情報といった幅広い分野の学習ができるような教育課程とした。

新しいコースには、今年度は36名（男子34名、女子2名）の新入生を迎えた。熟練技術者を講師に迎えた実技指導も取り入れ、より実践的なスキルの習得による技能検定や電気工事士といった国家資格の取得を行った。実習においても電気や機械等それぞれ実践に近い内容を行い、技術の習得を行った。

◎学校全体として昨年度より継続している取り組み

- ・ICTを活用した教育の充実

1、2年生全員にタブレットを貸し出し、Classiによる学習動画・Webテスト、

独自のテストなどを朝学習や家庭学習に役立てた。

・公開授業参観による職員研修

2. 特色ある学校づくり及び特別補助金事業の内容

①特色ある学校づくり

上記1の他に、次のような教育活動を実施し、特色ある学校づくりに努めた。

1) LHRの一環としてスクールアSEMBリー(SA)を年4回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から今年度は中止となった。

2) 父子卒業記念表彰

3) 文化祭における講演と献血の呼びかけ

4) 「ひびきあいの活動」の実施

今年度は、「自分が判断した理由をじっくりと考え、道徳的価値について深めさせる。」ことをテーマとし、教材を活用し、生徒たちに物事を多面的・多角的に考える力やそれを表現する力を培わせるための授業を実施した。

5) 教育相談SC(スクールカウンセリング)

6) 国際交流

7) 地域に開かれた学校づくり

本年度の地域連携事業については、新型コロナウイルス感染症防止のため多くの企画を行うことできなかった。

・2020年5月、糸貫川の清掃活動

・同5月、糸貫川で「アユの放流・鮎の観察」

・同8月、「夏休み親子わくわく体験」

・2021年1月、本巢市「ほほえみジュニア文化祭2021」への本校吹奏楽部の参加

・写真部による真正中学「真桑文楽同好会」活動記録撮。

・本巢市教育委員会からの依頼を受け、本校数学科教員及びカレッジコース生徒の本巢市数楽校への参加

・席田小学校英語クラブの活動での1年間を通して英語劇の作成への参加

・「エコキャップ回収活動」への参加

・MSリーダーズによる非行防止、規範意識啓発活動の一環として自転車盗難防止、防犯登録の呼びかけ及びパトロールへの参加

②特別補助金事業

学校特色化支援事業(教育改革推進特別補助事業)として、ICT教育の推進に向けて、1,2年生の教室を中心とした20教室に「電子黒板システム」を導入、電子黒板を有効活用するため、タブレット端末に授業支援アプリ「ロイロノート・スクール」も新規導入した。

(2) 生徒指導の状況

1. 年間目標

年間指導目標については下記の5点を平成25年度からの継続目標として設定し、建学の精神に基づいた生徒指導の実践を目指した。

- ①豊かな人間性と社会性を備えた生徒を育成するために、職員の共通理解と共通行動を徹底する。
- ②社会の一員としての自覚を持たせ、倫理観や規範意識を育てる。
- ③基本的生活習慣の確立
- ④いじめ未然防止と早期発見に努め適切な対応をする
- ⑤生命を大切に作る心や態度を育てる。

2. 職員申し合せ事項

職員間で下記の事項を共有し、年間目標の具現化を計った。

- ・職員の意思統一と共通行動
- ・クラス担任を中心とした生徒指導
- ・遅刻、欠席をなくす。
- ・生徒の問題点を見逃さない
- ・挨拶の励行

⑥保護者との連携

3. 具体的取り組み

①教育相談

毎月1回スクールカウンセラーが来校し放課後に実施した。

②生徒サポートアンケート

夏休み明けの9月に実施。

③マナー講座

講師を迎え各学年2回実施した。

④登下校指導

登校時に各校舎玄関・駐輪場・校門に職員を配置して、挨拶や服装、交通安全や通学マナーについての指導を継続して行った。

⑤交通安全指導

交通講話

⑥生徒会活動

- 1)生徒会執行部・各委員会活動
- 2)MSリーダーズ
- 3)文化祭

⑦服装・頭髪・身だしなみ指導

⑧携帯電話指導

⑨寮生活指導

⑩特別指導

生徒指導部としても組織的で統一した生徒指導を進めることができた。

(3) 進路指導の状況

次の目標達成に努めた。

1. 方針

- ①生徒一人一人に対してきめ細かく、一貫性を持った進路指導を行う。

- ②生徒が目標とする進路を実現するだけでなく、卒業後上級学校での勉強や職場での仕事に対応できる学力とコミュニケーション力の育成を図る。
- ③進路指導を3年生の進学・就職の指導に限定せず、入学後から3年間を通じて行う。
- ④学校教育全体の中で進路指導を行うために、全職員の共通理解と協力体制のもとで指導の充実を図っていく。

2. 内容

①学年別の指導

<1 学年>

- 1) 基本的な生活習慣と学習習慣の確立
- 2) 「分野別ガイダンス」の実施

<2 学年>

- 1) 学部別模擬授業
- 2) 進学マナー講話

<3 学年>

- 1) 3年生学年団と進路指導部による進学希望者対象の面接指導
- 2) 進路指導部とハローワークによる就職希望者対象の面接指導
- 3) 履歴書・志望理由書の作成指導
- 4) 大学入試説明会

カレッジコース3年生及びその保護者対象に、大学入試改革に伴う入試説明会を実施。

<全学年>

- 1) Web形式のオープンキャンパス

②進路ニュースの発行

進路指導室への入退室のマナーを通しての基本的な生活習慣の指導

3. 卒業生の進路状況

令和2年度3年生：208名（普通科：130名／工業科：78名）

進学							就職	合計
国公立大	私立大	短大	大学校	専修学校	他	進学計		
8(5)	70(16)	12(7)	8(0)	37(15)	10(2)	145(45)	63(11)	208(56)

※表（ ）内は女子を表す

(4) 教科外活動

1. 部活動一覧

【運動部】硬式野球・女子硬式野球・女子バレーボール・自転車・スキー・サッカー・ラグビー・女子ラグビー・卓球・ソフトテニス・バスケットボール・女子バスケットボール

【文化部】吹奏楽・美術・書道・写真・演劇（放送）・園芸・箏曲・茶道・コーラス・パソコン（工業）・自動車・ものづくり・アイデアロボット・電子機械

2. 令和2年度の主な成績（県大会ベスト4以上）

- 男子硬式野球部

2020 夏季岐阜県高等学校野球選手権大会	3 位
※ (第 102 回全国高等学校野球選手権会の代替大会)	
第 73 回秋季岐阜県高等学校野球大会	3 位
第 73 回秋季東海地区高等学校野球大会	3 位
第 28 回岐阜県私立高等学校親善野球大会	準優勝
○女子バレーボール部	
第 73 回全日本バレーボール高等学校選手権大会岐阜県代表決定戦	準優勝
○自転車部	
2020JCSPA ジュニアサイクルスポーツ大会全国大会令和 2 年度全国高等学校総合体育大会中止に伴う大会 ※全国高等学校総合体育大会自転車競技大会	
3 k m個人パーシュート	1 位
女子ケイリンエキシビジョン	1 位
女子 500mタイムトライアル	1 位
JOC ジュニアオリンピックカップ自転車競技大会	
U17 500mタイムトライアル	1 位
U17 スプリント	1 位
全日本自転車競技選手権大会トラックレース/ジュニア	
3 k m個人パーシュート	2 位
ポイントレース	3 位
○スキー部	
FIS スノーボード [®] ワールドカップ 2021 クリッチベルク オープン ビッグエアー 女子	2 位
FIS スノーボード [®] ワールドカップ 2021 ラークス オープン スロープスタイル 女子	7 位
第 68 回岐阜県高等学校総合体育大会冬季大会スキー競技兼第 70 回全国高等学校スキー大会岐阜県選考会	
女子大回転	5 位
※上位者がけがのため棄権でインターハイ出場	
女子回転	2 位
第 76 回国民体育大会スキー競技会岐阜県予選会	
大回転 少年女子組	2 位
令和 2 年度 岐阜県高等学校新人スキー大会	
女子回転	2 位

3. ボランティア活動

各クラスでの「挨拶運動」、生徒会主催の「世界の子どもたちにワクチンを届けるエコキャップ運動」、「コートジボワールに靴・文房具を送る活動」などを通して、地域貢献や国際貢献についても意識を高めた。

4. 社会奉仕活動

MS リーダーズ 194 名が中心となり、交通安全啓発活動を本校南門で 3 回実施した。

(5) 校内清掃活動

1. 学校クリーン活動（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策）

年度の始めと終わり、各学期の始業を迎える準備として、全職員で校内の清掃と備品や施設の点検・整備を実施した。

2. スポーツコースによる朝の清掃活動

スポーツコースに所属する部活生が自主的にコースの特性や運動選手としての心構えの一環として実施した。

(6) 命を守る訓練

1. 通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練

3密を防ぐため雨天時に体育館への避難訓練は実施しない計画をした。

2. 安全教育講話

例年7月に安全教育講話を実施していたが、本年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から、北方自動車学校と連携し、交通安全のDVDの鑑賞。

(7) 地域社会との交流

1. 夏休み親子わくわく体験

今年度はコロナ禍であり新型コロナウイルス感染拡大を防止するため中止となった。

2. 課題研究成果発表選考会

①目的

課題研究の授業の一環で成果発表を行い、1年間資格取得や作品製作に取り組んできた成果を発表する。それによりコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を養い、社会人基礎力向上につなげていく。今年度はコロナ禍のため、発表会を変更し報告書の提出で発表に置き換えた。

②実施方法

報告書の提出ならびに選考

③内容

- 1) 機械加工
- 2) マイコン制御
- 3) 学校設備製作
- 4) 自動車実習機材製作
- 5) マシニングセンタ
- 6) PLCを用いた防犯ハウス（モデル）

④選考結果

- 1位 マイコン制御
- 2位 PLCを用いた防犯ハウス（モデル）

⑤まとめ

本来は3年生と来年度実施する2年生と工業科職員が発表会の対象となり、2年

生は発表を聞くことで、来年度に向けた心構えや意識を高めているが今年度は報告書のみとなった。

(8) 国際交流活動

1. 姉妹校提携先・提携内容

双方の自主性を尊重し国際親善を図り、教育・文化・スポーツ面での交流を推進し、友好協力関係を深めるために締結

Ipswich Grammar School (オーストラリア)

1989年(平成元年)12月8日 短期留学生・交換留学生・教職員の交流・スポーツ交流

St. Aidan's Girls' School (オーストラリア)

2016年(平成28年)9月1日 研修訪問・交換留学生・教職員の交流

Mater Dei School (タイ王国)

2019年(令和元年)5月2日 生徒の交流・教員及び他職員の交流・教育・文化・スポーツ交流

2. 留学生受け入れ(令和2年度分)

新型コロナウイルス感染症流行により中止

3. 海外研修の状況

新型コロナウイルス感染症流行のため中止

4. 姉妹校からの本校訪問

今年度の本校への訪問なし

5. 学校季刊誌 SKY TALK の発行について

本年度は2020年9月、2021年1月、2月の3回発行

6. その他の交流

2020年6月28日(日)～7月5日(日)の期間、オーストラリアクイーンズランド州のU18野球選抜チームが来日し、岐阜県郡上八幡を訪問予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症流行のため来日できず、現時点では2021年度の同時期に延期予定となっている。

2020年12月にオーストラリア、ロビナ高校から30名ほどが本校に来校し、学校見学やスポーツを通じての交流を行う予定で計画を進めていたが、新型コロナウイルス感染症流行により実施できなかった。

郡上市が東京オリンピック競技大会女子ラグビーのホストタウンに選考され、コロンビアとマダガスカルの代表が郡上で練習を行う予定であったが、東京オリンピック延期に伴い実施できなかった。

(9) 生徒募集活動

1. 構成

今年度の入試渉外部は13名のスタッフを、中学校訪問担当、データ分析担当、渉外資料作成担当、HP更新担当に役割分担して構成した。入試渉外部会の企画・立案に関しては学校長・副校長・教頭・入試渉外部長・入試渉外部他3名で行い、その内

容をスタッフに伝達し共有を図った。

2. 入学試験

コース改編2年目の募集となる。コースで求める生徒像と教育内容を踏まえた入試選考基準の見直しを行った。特に進学を目指す特別選抜コースは5教科の評定と校内実力テストの点数の比重が高く、尚且つ両方を求めていたために昨年度は受験者がいなかった。したがって、ただ基準を下げるのではなくコースの特性に順応できる基準を設定した。結果として満足できるとはいえないが、2名の高い向上心を持った受験生が志願した。

出願は例年通り郵送もしくは持参としたが、8割が郵送で2割が持参であった。

試験は新型コロナウイルス感染症予防対策を講じての実施であったが、検温、教室の換気、手指のアルコール消毒など徹底し特に混乱することなく実施した。

3. 取り組み

①中学校訪問

県内79校を3名の担当で分担して訪問する新しい形態をとった。年間計画は定期考査の時期に合わせて4回訪問する予定であったが、4月、5月の緊急事態宣言による休校のため予定を変更し、学校再開の少し落ち着いた7月と計画されていた10月、12月の3回訪問した。

担当を3名にしたことでかなりの負担はあったが、中学校から得られた情報の共有が瞬時に行うことができ、募集活動に繋げることができた。

②夏季学校見学会

コロナ禍ということもあり、中止をする高等学校が多くあるなかで4日間開催した。

③一日入学

県下で中止となる。したがって本校独自の進学相談会・体験授業を開催した。内容は夏季学校見学会に実施できなかった体験授業を取り入れ、アンケート結果からもコロナ禍で体験授業に参加できたこと、高校で学ぶ授業が受けられたことに満足できた高評価が得られた。

④塾対象説明会

コロナ禍ということもあり、2日間を地域別指定で開催した。

⑤入試説明会

本年度は、2日間開催した。名称をオープンキャンパスから入試説明会に変更し、全体会は今中学生や保護者が知りたい入試情報に重点を置いた説明とした。

⑥中学校主催高校説明会への参加

コロナ禍ということもあり、説明会の自粛があるなかで26校（前年度比9校減）からの依頼があった。

⑦PTA来校

今年度はコロナ禍ということもあり、依頼は1件もなかった。

4. 入試結果

令和3年度入試は、志願者数が推薦入試【単願】182名（前年度比17名増）、一般入試【併願】635名（前年度比78名減）、合計817名（前年度比61名減）

であった。昨年度と比較すると合計は減少しているものの、推薦入試【単願】は多いとは言えないが増加した。

(10) 教員研修の状況

1. 校内研修

第1回 4月25日 延期

第2回 8月22日 職員健康診断

第3回 9月26日 「電子黒板利用法について」

初級研修 接続方法、基本的な操作、簡単な機能面でのICT活用授業

中級研修 電子黒板の機能の解説後、各教科の電子黒板活用の授業実践例の紹介

第4回 11月28日 「ICTを活用した授業展開」各自研修

第5回 2月27日 「ICTを活用した教材開発について」各自研修

新型コロナウイルス感染症対策のため緊急事態宣言が発令され4、5月は各校とも休校を余儀なくされたが、本校は幸い1、2年全生徒及び全教員にタブレットが貸与されており、リモート授業も実施された。

2. 教育団体での研修

(1) 中部地区私学教育研修会 中止

(2) 県外優良高等学校実情調査 中止

(3) 私立校長会県外視察研修 中止

(11) 施設・設備の状況

1. 施設の整備状況

- ・センターホール北出入口庇取付、マシニングセンター棟とセンターホール間の通路嵩上げ
- ・校内ネットワーク整備（無線アクセスポイント設置）
- ・体育館照明のLED化
- ・第1スポーツ寮・漸進館改修、グリーンハイツ（女子寮）物干場改修

2. 設備の整備状況

- ・複合機（コピー等）更新
- ・校内電話装置等更新、顔認証型AIサーマルカメラ8台購入
- ・工業科メカトロニクス技術実習システム整備
- ・電子黒板機能付き超短焦点プロジェクター1台購入

3 岐阜女子高等学校

(1) 教育活動

1. 学科、コースの特徴

設置学科は普通科、家庭科、食物科で、普通科は2コースに分けている。なお、家庭科は平成17年度より募集停止としている。

①普通科文理科コース

文理科コースは、国公立大学、難関私立大学への進学を目的とし、少人数のクラス編成によるきめ細かな進学指導を実施している。平日は8時開始の0限から放課後補習にあたるS.S. (Skill up Supported time の略) が終了する18時。長期休業中には2週間前後の補習授業を行うなど、一人ひとりの高い目標の達成に向けて指導している。

②普通科一般コース

四年制大学・短期大学・専門学校等への進学を中心に幅広く多様な進路に対応する教育活動を展開している。特に、姉妹校の滋賀文教短期大学への進学を考えて書道や子どもの発達と保育、子ども文化などの科目を取り入れている。第1学年は基礎学力を身に付けながら自己の適性を見極め将来の目標をたてる。第2学年から各自の希望により進学または美術のいずれかの類型を選択し学習する。

③食物科

食物科は、食品や調理に関する専門的な知識や技術を習得し、食物・調理のプロを養成する学科であり、国家試験免除で調理師免許が取得できる。和・洋・中の世界3大料理や集団給食、洋菓子の実習をはじめとして専門教科の学習をしている。卒業後の進路は、調理師免許を活かしホテルやレストランなどに就職する生徒、また、短期大学・専門学校へ進学し、栄養士や製菓衛生師等の資格取得を目指す生徒、さらには、管理栄養士などを目指して四年制大学へ進学する生徒に分かれる。

2. 特色ある学校づくり

各科・コースに応じたきめ細かな教科指導以外に、次のような教育活動を行った。

- ・校内一斉消毒作業 (5月28・29日)
- ・寮における命を守る訓練 (5月25日A寮・温和館、6月4日若あゆ会館)
- ・献血セミナー (10月12・15日 岐阜県赤十字血液センター)
- ・命を守る訓練 (8月24日)
- ・献血 (11月16日)
- ・新春書初め大会 (1月12日)
- ・テーブルマナー講座 (10月28日～11月12日岐阜都ホテル)
- ・ワークライフ・バランス講座 (12月4日岐阜県健康福祉部)
- ・食物科調理技術発表会 (12月18・19日)
- ・各種資格検定取得の推奨

年間を通して各種資格検定取得を推奨し、実用英語技能検定試験、硬筆書写検定、毛筆書写検定、ビジネス文書実務検定、情報処理検定を受験 (延477人が受験し、170人が合格)

・特別補助金事業の内容

学校特色化支援事業（教育改革推進特別補助金）

教育環境の改善、安全安心な学校づくりの推進をテーマに、総合体育館2Fアリーナのギャラリーに電気空調機を設置した。2学期からの授業や部活動、学校行事で冷房使用を開始した。熱中症の心配もなく、感染症対策にも配慮して、夏、冬ともに安心安全なアリーナとして、各種学校行事や授業、部活動等での使用に供することができるようになった。

コロナウイルス感染症対策関連補助金で、校内及び寮の感染症対策及び遠隔授業実施のためのICT整備を行った。

○学校保健特別対策事業費補助金(国庫補助金)

・マスク等購入支援事業

不織布マスク 4,000枚購入

・学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援事業

顔認証型AIサーマルカメラ4台購入

・修学旅行のキャンセル料等支援事業

令和2年3月実施予定北九州修学旅行キャンセル代107名分

・感染症対策等の教育活動継続支援事業

三菱サーキュレーター扇風機25台購入

○教育改革推進特別補助金(県私立学校教育振興費補助金)

・学校休業・感染症予防対策事業

飛沫防止パネル・フェイスシールド・非接触型体温計等購入

・遠隔授業実施のためのICT整備事業(校内LAN整備事業)

無線アクセスポイント(Wi-Fi)取付工事(本館・南館)

・遠隔授業実施のためのICT整備事業(授業配信環境整備事業)

授業配信用ノートパソコン(SurfacePro7)16台購入

・遠隔授業実施のためのICT整備事業(高等学校端末整備事業)

全校生徒用タブレットパソコン(Chromebook)375台購入

(2) 生徒指導の状況

1. 基本方針、内容

本校の生徒として自覚を持ち、基本的な生活習慣を確立するなど規律ある高校生活を送ることを目標に、以下の生徒指導を行った。

- ・登下校時、校門、名鉄切通駅及び通学路での教員による立哨指導、風紀委員による交通指導を実施
- ・定期試験期間中に教員が生徒と一緒に電車に乗り、マナー指導を実施
- ・遅刻者に対する指導
- ・クラスの代表者による校門での挨拶運動の指導
- ・防犯ブザーを生徒全員に携帯させる指導
- ・自転車通学者の登録・点検・指導

また、MSリーダーズ活動は、高校生が警察の支援を受けながら「生徒による、生

徒のための非行防止・規範意識啓発運動」に取り組む自主的な活動であり、本校では生徒会と協力して通学路の交通安全活動、挨拶運動を行った。

(3) 進路指導の状況

1. 基本方針

人や社会への興味・関心を啓発し、適正な自己理解を支援する。また自らの進路を選択決定できるような個性の伸長を図る。人間の生き方について自覚を深め、自主的に自己の将来に向かって努力する意欲を養い、健全な職業観を育成する。

2. 取り組み

文理科コースは0限や放課後の補習授業を実施し、徹底した個別指導のもとで各自の能力を最大限に引き出し、全員が国公立大学・難関私立大学への現役合格を目指した。

一般コースはそれぞれの類型で学習したものを生かし、四年制大学・短期大学・専門学校への進学や就職の指導を実施した。

食物科は3年間学習した専門的知識と技術が生かせる四年制大学・短期大学・専門学校への進学や就職の指導を実施した。

- ・進路ガイダンス(全クラス別) 進学・就職の流れと、推薦応募者の推薦基準説明
- ・分野別進路ガイダンス 1年生一般コース・食物科対象
- ・進学講演会 3年生一般コース・食物科対象
「進学の心構えと面接・小論文対策」
- ・就職ガイダンス 3年生・保護者対象(本校教員による説明)
- ・模擬面接指導 3年生一般コース・食物科対象
- ・志望理由書の書き方講座 2年生一般コース・食物科対象 クラス別

3. 卒業生の進路状況

令和2年度は進学率79%、就職率18%であった。

(単位：人)

進 学					就 職	その他	合 計
国公立大	私立大	短 大	専各学校	進 学 計			
12	44	12	22	100	23	3	126

その他の内訳 受験浪人1名、フリーター2名。

4. 高大連携(滋賀文教短期大学)の推進

- ア) 3年生普通科一般コース進学類型対象 令和2年6月保育実習【Zoomによる】
- イ) 1～3年生希望者 進路ガイダンス 令和2年7月【Zoomによる】
- ウ) 1～3年生希望者 三者懇談後の進学相談 令和2年8月【Zoomによる】
- エ) 1年生対象 分野別進路ガイダンス 令和3年3月【岐阜女子高校にて】

(4) 教科外活動

- ・部活動一覧

運動部：バスケットボール、ソフトボール、バレーボール、テニス、卓球

文化部：琴、書道、吹奏楽、美術

・令和2年度はバスケットボール部、ソフトボール部が岐阜県競技力向上対策本部より競技力強化指定を受ける。

・バスケットボール部が全国高等学校選手権大会でベスト8を果たした。

・ソフトボール部が岐阜県高等学校総合体育大会で優勝を果たした。

・運動部の主な競技成績は以下のとおり

○岐阜県大会

バスケットボール部	岐阜県高等学校バスケットボール選手権大会	優勝
〃	岐阜県高等学校新人バスケットボール大会	優勝
ソフトボール部	岐阜県高等学校総合体育大会	優勝
〃	岐阜県高等学校新人大会	3位

○東海大会

バスケットボール部	東海高等学校新人大会	準優勝
-----------	------------	-----

○全国大会

バスケットボール部	全国高等学校バスケットボール選手権大会	ベスト8
-----------	---------------------	------

・文化部も各分野で日々の活動の成果が出ている。

美術部	各務原市高校生美術展	優秀賞・奨励賞
	瑞穂市美術展	市展賞
	本巣市美術展	奨励賞受賞
	岐南町 新型コロナウイルス感染症拡大防止啓発ポスター制作	
書道部	各務原市高校生美術展	30周年記念賞・優秀賞
	全国書道展	特賞・優秀賞・秀作賞
	ふれあい書道展	特選・奨励賞・敢闘賞
	長良天神神社書道展	岐阜県教育委員会賞・奨励賞
	長良天神書初め展	大玄堂賞・秀作賞・奨励賞
吹奏楽部	岐阜県総合文化祭書道展	奨励賞を受賞
	個人重奏コンテスト個人の部	銀賞受賞
	食物科 豚肉料理レシピコンクール	優秀賞
	食物科 鶏卵鶏肉コンクール	優秀賞
食物科	岐阜県学生あゆ料理コンテスト	奨励賞
	食 WITH レシピ甲子園	和食賞
	だいこんおろしアートコンテスト	優秀賞
		ひるがの高原だいこん賞受賞

(5) ボランティア活動

生徒会主催による世界の子どもたちにワクチンを届けるエコキャップ運動を継続。

(6) 社会奉仕活動

生徒会が中心となって行った「歳末助け合い義援金」を岐阜新聞岐阜放送社会福祉事

業団に届けた。

普通科進学類型の生徒が、七夕にちなんだ折り紙作品(模造紙2枚相当)を制作し、医療従事者への感謝を込めて岐阜県総合医療センターに寄贈した。

(7) 地域社会との交流

生徒会とMSリーダーズが協力して通学路の交通安全活動、挨拶運動を行った。この運動の結果、地域住民の安全に対する意識の向上がみられ、声かけをしていただけるようになった。また、生徒も地域の人たちに対して自然に挨拶ができるようになった。

岐南町役場からの依頼で、新型コロナウイルス感染症拡大防止啓発ポスターを制作し、岐南町役場及び町内35自治会掲示板に掲示した。

(8) 国際交流活動

1. 海外姉妹校提携先

・セントエイダンス高校 (オーストラリア)

2. 留学生の受入れ (3名)

・イベ・エスターチカンソ (ナイジェリア・3年生)

・アググア・チカ・チュクウ (ナイジェリア・2年生)

・ジュフ・ハディジャトウ (セネガル・1年生)

(9) 生徒募集活動

1. 主な募集活動

① 渉外(生徒募集)担当者9名(中学校訪問は5名)が、募集定員の充足という目標を達成するために次の内容で募集活動を行った。

- ・中学校訪問は、岐阜地区を中心として、過去の実績により活動した。特に愛知県の近郊の中学校(令和2年度は一宮市を中心)も重点地区として捉え活動を行った。
- ・こまめな訪問活動を心がけ、一つでも多くの情報を提供できるようにした。
- ・高校説明会を9校、出前授業を3校で実施した。また、羽島中学校においては、ZOOMを利用した説明会を行った。

② 中学生を対象とした見学会等を次のように実施した。

- ・見学会 7月2回、8月3回(コロナ禍のため、6月見学会は中止)
- ・部活動体験会 8月8日、8月9日(新規)
- ・OPEN CAMPUS WEEK 9月14日～19日、10月12日～17日(新規)
- ・入試説明会・個別相談 11月8日、11月21日
- ・見学会・個別相談 11月28日、12月6日
- ・進学相談週間 11月24日～12月11日

③ 私立高校合同説明会に参加した。

10月2日岐阜地区、10月13日可茂地区、10月8日西濃地区

④ 学習塾対象説明会を本校にて実施した。

10月1日 78名参加

⑤ 中学校対象入試説明会・公開授業を本校にて実施した。

9月24日 43名参加

⑥一宮地区中学生対象岐阜県私立高校入試説明会に参加した。

10月3日

⑦中学生イラスト・絵画コンクールを実施し、921点の応募があった。

10月9日、最優秀賞1点、優秀賞3点、奨励賞12点、佳作171点を選出。
コロナ禍のため令和2年度は展示を行わず、入賞者の学校に出向き学校長より表彰した。

(10) 教員研修の状況

1. 職員研修（9月28日）

管理厚生部よりアレルギー対応についての講習会を行った。

2. ICT研修会

- ・スタディサプリ（3月9日）
- ・Gスイート（3月16日）
- ・ロイロノート（3月18日）
- ・BLEND（3月26日）

(11) 施設・設備の状況

1. 施設の整備状況

- ・体育館ステージ用電動スクリーン設置工事
- ・本館事務室書庫間・エントランス間仕切り工事
- ・体育館2階アリーナ空調設備設置工事(学校特色化支援事業)
- ・南館空調更新工事
- ・グラウンド南側排水工事

2. 設備の整備状況

- ・RICOH製カラー複合機1台購入
- ・グラウンド整備用吸水ローラー1台購入
- ・顔認証型AIサーマルカメラ4台購入(学校保健特別対策事業費補助金)
- ・ガラス両開き書庫2台購入
- ・校内無線アクセスポイント(Wi-Fi)取付工事
- ・授業配信用パソコン(SurfecePro7)14台購入
- ・校内無線アクセスポイント(Wi-Fi)取付工事(遠隔授業ICT整備事業補助金)
- ・授業配信用パソコン(SurfecePro7)16台購入(遠隔授業ICT整備事業補助金)
- ・生徒用タブレットパソコン375台購入(遠隔授業ICT整備事業補助金)
- ・三菱サーキュレーター扇風機25台購入(学校保健特別対策事業費補助金)
- ・事務用パソコン1台購入
- ・寮用冷蔵庫2台・二段ベッド1台購入
- ・図書(購入分188冊・寄贈分一冊)
- ・保健室用備品・健康診断機器購入(安全振興会創立35周年事業)
- ・式典用赤じゅうたん・シート購入(3年生会卒業記念品)